

調べてみました 居住者の構成



調べてみました居住者の構成

第36回通常総会時に提出された資料に基づき表とグラフを作成しました。集計は全世帯及び入居者には至りませんが、資料として十分に役立てる事ができると考えます。

表とグラフから当団地の居住者構成は巷間で言われる少子高齢化の現象をそのまま反映しています。特に年齢別割合構成から60才以上の方が半数以上に達し、世帯人数構成からは、一人世帯と二人世帯を合わせるとお

よそ七割を越えている現状です。表とグラフの集計開示の目的は現実を通して、これをどの様に分析活用して行けるかの問いです。例えば年齢別世帯構成グラフの変遷は間違いなく右へ右へと移動します。団地施設の維持、組織運営、イベント開催、保安と防災の協力とそして対策、等々の力を必要とされる年代の方々は30才から60才でグラフでは次の山と言います。

現在はいずれの地域でも同様の悩みを見聞しますが、有識な高齢者と行動力に富む柔軟な知識を持つ現役の若手の方が共に対話と確認を通して少しずつ引き継がれて行く必要が必然的に有ります。コミュニケーションの際多少でもこの資料が活用されればと考えます。

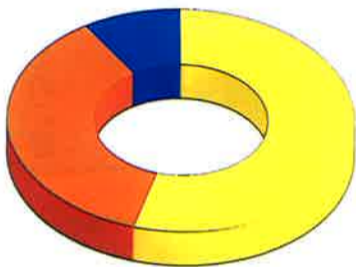
(広報部)

《発行所》
若葉台
第一住宅管理組合
坂戸市千代田4丁目7番30号
電話 049-283-7950
メール:kanri@wakaba1.com
http://www.wakaba1.com/



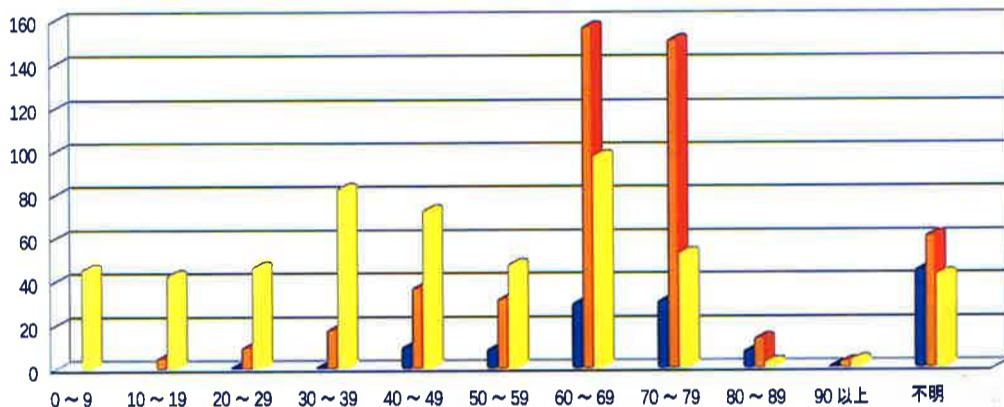
年齢別割合構成(1,016人中)

0~19 9.3% 20~59 36.3% 60以上 54.4%



年齢別世帯構成(528世帯 1,165人)

1人世帯 2人世帯 3人以上世帯



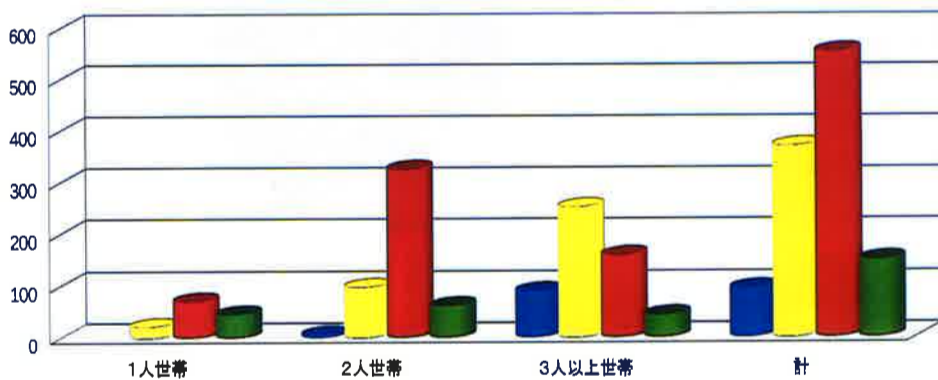
世帯人数構成

1人世帯 25.8% 2人世帯 46.2% 3人以上世帯 28.0%



年代別世帯構成

0~19 20~59 60~90 不明



入居者人数構成表

世帯数 528

(2015/5現在 入居者名簿提出による集計)

年齢別	0~9		10~19		20~29		30~39		40~49		50~59		60~69		70~79		80~89		90以上		不明		計		合計	世帯数
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
1人世帯					1	1		8	2	5	4	6	24	9	22	1	7		1	24	21	54	82	136	136	
2人世帯			5	7	3	7	11	19	18	13	19	57	100	73	78	9	5	2	1	41	20	228	260	488	244	
3人以上世帯	17	29	24	19	23	24	44	39	35	38	23	25	37	61	30	23	1	2	1	3	33	10	268	273	541	158
計	17	29	24	24	30	28	52	50	62	58	41	48	100	185	112	123	11	14	3	5	98	51	550	615	1165	528

文字摺草
昨年、石の広場の樺や桜の葉がすっかり無くなつて、最後の一枚だろうか、落ちていく葉を目にしたが、以前読んだ絵本「葉っぱのフレディ」のこの旅を思い出した。絵本という表現形態をとっているが、生と死をテーマに書かれていること、子どもから大人まで親しまれてきたユニークな作品だ。春に生まれた葉っぱのフレディが主人公。夏に人々に憩いを与え生き生きと暮らし、秋は紅葉し目を楽ませ、やがて訪れる冬、葉っぱたちは土に還る、散った葉っぱの栄養分が、また新しい葉っぱを生み、自然に同化し永遠に続いていくという生命の循環、地球環境までも描かれている。一人ひとりの輪廻転生では計りきれない壮大な世界の物語だ。短い生命をおしていのちの尊さを感じ、石の広場の木々に、この絵本の中に描かれている物語を重ねていた。今頃はきっと栄養を蓄え春に備えていることだろう。

(公)

これがらも 座談会 あっと住みたいこの団地

日本中で高齢化が進む中、当団地も例外ではありませぬ。管理組合員役員も殆どが60歳以上です。しかし今年度は、若い方々が理事・棟長・委員に就任され、住人の年齢構成が少しずつ変化してきているのではないかと感じます。この団地にこれからの快適に安心して住み続けていくためには、若い方のパワーが不可欠です。

今回お集り戴いたのは30代40代の住民の方々ですが、若い皆様方のご意見をお聞きし、今後の団地運営の参考になればと思います。

Q1 この団地に住まわれて何年ですか？
住もうと思ったきっかけは？

- ・14～15年になります。仕事の都合で便利がよいので選びました。
- ・3年です。分譲価格が手ごろで、通勤に便利なこと。あと、山が見えることです。
- ・6年になります。鶴ヶ島の賃貸にしばらく住んでいましたが子供が生まれることになり分譲価格や買い物に便利な点や、治安や環境のよさからです。
- ・9年です。子供が生まれてここにきました。当時は実家は若葉台マンションでしたが鶴ヶ島の賃貸からの引越して分譲を選ぶことになり、この団地に決めました。住環境がよいこと、長く住めるエリアであること、子育てしやすいこと、安心安全などの理由からです。
- ・8年になります。千代田2丁目実家があり、結婚して住み続けています。
- ・3歳から住んでいるので35年くらいになります。結婚してからもこの団地に住み続けています。環境がとても気に入っているのです。

Q2 生活してみても「感想は？」

- ・木を切っているチェーンソーの音が気になりました。今となっては理由がわかりました。
- ・(上下階の)水道の音なども気になりますね。
- ・この団地の床の厚みが薄いため、上下の音が響くんですよ。構造的に、水周りの音など反響しやすい。
- ・どこへ行くにも、高速道路も近くとても便利に感じています。

Q3 世代の違いについてどう思われますか？

- ・理事、棟長を通して色々な人と交流ができた。
- ・各部(植栽・コミュニティなど)の人たちとも話しやすくなり、イベントにも関わるようになってみて世代の違いを所々感じるが、これからだと思えます。

Q4 管理組合・自治会の行事について「意見」「感想は？」

- ・色々なことに初めて関わり、理事の苦労がわかるようになって、やらなければではなく、自分から参加するようになった。

- ・「固い」形式が少し気になります。「ゆるさ」も必要なのかな。イベントの告知一つとってみても自治会・理事会が仕切っているのですが、世代間の「敷居」を越えるのはどちらからなのか。もったいないと思う。形骸化しているところもある。もっとコミュニケーションのとりやすさが必要。
- ・世代によってコミュニケーションツールが時代と共に異なってきた。(LINE、SNS等)
- ・ルールも今まで築いてきたものを壊せないという弊害があるように思います。
- ・年配の方から声をかけて頂いたり交流の場が増えてきました。機会がないと若い人には団地での交流がとづらいのではないかと、そういった受け皿は必要と感じますね。
- ・行事を運営する側になって苦労がわかりました。やっていることは大変ですが素晴らしい。運営を年配の方に頼ってしまっているように感じます。
- ・もっと団地住民にアピールが必要だと思う。



座談会 出席者

- | | | | | |
|-----|-------|-------------|-----|-------------|
| 出席者 | 太田真奈美 | 小池 宏美 (広報部) | 司 会 | 羽磨千賀子 (広報部) |
| | 高木 厚志 | 永山 聡 | | 清水 一 (広報部) |
| | 松丸 朋宏 | 三宅 智子 | | |

Q5 若い世代にとって魅力のある住環境は？
参加してみたい交流の場やイベントは？

- ・今回参加したソフトボール大会とか、サッカー大会とか共通の趣味のイベントが継続的にあればよいと思う。
- ・告知の方法も考える必要があるのではないかと。
- ・イベントを企画するグループなど、若い人たちが集まって企画して年間計画を立てるのはどうでしょうか。
- ・子育て中の人を対象にしたり、オールナイト映画会や夜9時から10時のお茶会とか、集まってしゃべれる環境がもっとあればいい。
- ・青年部の立ち上げも考えてもいいのでは。
- ・働いているので団地の集まりの時間に合わない。幅広い時間の緩和等が必要か、そういった受け皿は必要と感じますね。
- ・行事を運営する側になって苦労がわかりました。やっていることは大変ですが素晴らしい。運営を年配の方に頼ってしまっているように感じます。
- ・もっと団地住民にアピールが必要だと思う。

Q6 最後にこれだけとは「ご意見やご希望」は？

- ・北坂戸の団地の中に空き部屋(店舗)を利用した誰もが集まれるトレーニングマシンを使う施設があるそうです。そんなのもいいですね。
- ・若者が住みやすくなって年配の方が住みやすくなっては本末転倒ですね。

本日はお忙しい中、貴重なご意見を戴き、大変ありがとうございました。



力を合わせて頑張りました 千代田地区市民体育祭 (10月4日)

ぼくは、今年初めて市民体育祭に参加し、リレーに出場しました。市民体育祭は、学校の運動会とはちがいで、子供も大人も一緒に楽しめる行事だと思います。

すべての種目に皆一生けん命がんばっている姿は、もりもり応援にも力がはいりました。特につな引きは、はく力があり、大人の人はすごいと思

いました。お昼に美味しいカツカレーを食べて、午後の種目も進んでいくと、いよいよ最後にはぼくの出場す

にいき、皆、全力で走れました。順位は、一位ではなかったけど、チームワークでは、若葉台第一住宅が一番だと感じた市民体育祭でした。

市民体育祭に参加して

佐々木 洸 (六年生)

るリレーになります。リレーは、あつというまに終ってしまう分ドキドキします。バトンパスもスムーズ



「防災委員を務めて」 三宅 智子

私は、縁あって若葉台第一住宅に入居してから間もなく、三年目を迎えます。昨年の六月から、防災委員となり、同じ棟の方々、委員会の方々にご助言とご教授を頂戴しながら務めております。活動を通しての感想は「日頃から、団地全体で防災に取り組んでいる。」です。今回は様々な取り組みの内、特に印象的なものを2つ挙げ、記します。

始めに、月2回の土曜の夜の、集団パトロールです。寒暑にも打ち克ち参加は毎回、約三十人！防犯意識の高さと、結束力を感じます。加えて、長年の治安維持活動に、携わって来られた多くの方々に敬意と、安心して暮らすことができる今日の礎を、築いて下さったことに対する謝意を抱いております。

次に、消防訓練・救命講習・防災施設視察等のイベントを、団地全体にアナウンスしていること

最近、私は、今年五月までの防災委員の任期を全うした後にも、機会があれば若葉台第一住宅の住民の一人として、治安と防災に努めたいと思うようになりました。今後とも、何とぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

My Room



今回のご紹介は、10号棟にお住まいで陶芸がご趣味の根本祥子さんです。13年前、千代田公民館で行なわれた初心者陶芸講習会がきっかけで「楽陶会」という会を結成。会員は現

在10名程で年1回窯元に勉強に行かれるそうです。毎年、公民館の文化祭で作品を発表されています。上の写真は今年度の展示作品で中に灯りを点すととても幻想的です。陶芸と言えばお皿や茶碗を思いがちですが、この様な置物も素敵です。(取材 羽磨)

体協千代田支部 20才以上ソフトボール大会

深野 雅人

エレベーターの掲示板に目を向けると、「ソフトボール参加者募集」の掲示。妻に相談し「参加してみれば」と。また私自身も会社でおこなっているスポーツであるのでこれなら参加できそうと思ひ恐る恐る監督の吉澤さん宅へ電話してみました。参加の意志を告げると「ありがとう」という



答えが「ちなみに何人位人数が集まっていますか」と聞くと「まだ3人かな」と締めきりまで、あと数日大丈夫なのかと思ひ顔合せの日に集合場所の南小学校の校庭に向うと集まっているではありませんか。これでソフトボール大会に参加できると確信しました。メンバーは四十代から七十代。団地の高齢化なのか、二十代、三十代の参加者は現状では難かしいこれが現実かなと思ひました。とはいえメンバーはやる気満々。負けられないと思ひ、自分のスケジュールも大会に向けて調整し、練習に参加しました。初日の顔合せ。吉澤監督を中心に、自己紹介、準備運動、ランニング、キャッチボール、バッティングと二時間の練習もあっという間に終わりました。練習二回目は、あいにく雨で中止になり三回目、四回目の練習はグラウンド状態が悪い中の練習もありましたが、無事に練習も終え、大会に挑む準備が出来ました。大会当日、

秋晴れの中、各チームが南小学校校庭に集まりました。第一印象はやはり我チームの年齢層は高いなど感じました。他のチームはユニホームもピンツと揃え、また二十代、三十代の選手が多いではありませんか。少し不安の中、開会式が始まり、ラジオ体操終了後、各会場に移動し、我チームも道具を持って稲荷久保公園に。初戦は、関根チームと。恐らく監督の心の中には、大量得点で負けなければいいかなどと思ひがあつたのでは。しかし試合は予想とは裏腹の展開。ピッチャーの好投守つては、ファイナンプレー。打つては連打。相手チームも「良く打つな」と予想外の様子。なんと初戦大差で勝つたではありませんか。まさかと、この勢いで望んだ二戦目皆さん初戦ですべての力を出しつくし、我チームは惜敗でした。今回チームの皆さんと交流が出来て楽しく参加出来ました。興味のある人、これを団地内交流の初めの一步となれば、いいのではないのでしょうか。
(結果は3位入賞でした。)

平成27年度 各棟別募金内訳表

募金種別	日赤社資募集		社会福祉協議会会費		赤い羽根共同募金		歳末助け合い募金		
	募金期間	4/28~5/11	6/6~6/22	10/1~10/15	11/14~11/30	件数	金額	件数	金額
号棟	戸数	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	20	2	800	3	900	3	1,200	2	700
2	20	2	1,500	3	1,000	3	1,200	7	1,600
3	30	3	1,500	2	800	2	850	3	900
4	20	5	3,000	0	0	5	1,600	4	1,250
5	20	4	1,600	6	2,000	4	1,550	2	700
6	30	2	1,000	4	1,200	2	600	2	800
7	20	2	1,000	1	500	2	1,000	4	2,000
8	20	5	3,500	7	2,500	7	3,050	7	2,200
9	28	7	5,300	9	4,600	9	6,000	8	4,200
10	30	6	3,500	7	2,550	8	3,750	7	2,900
11	20	7	3,500	8	4,200	10	4,750	9	3,900
12	20	2	1,500	4	1,200	4	1,700	5	3,500
13	30	3	1,750	4	2,500	3	1,100	5	1,238
14	20	3	1,000	4	2,300	5	2,200	4	1,500
15	30	2	1,500	2	1,500	3	1,300	4	1,100
16	30	5	2,300	5	1,700	7	4,200	5	1,900
17	48	12	6,800	10	4,800	13	7,250	16	7,770
18	32	4	2,000	7	3,000	7	3,700	7	3,300
19	48	8	4,000	4	1,400	5	2,500	5	2,250
20	30	4	2,000	6	2,000	6	2,350	6	2,200
21	20	5	2,300	5	1,500	4	1,150	8	2,050
22	30	1	1,000	4	2,500	4	1,900	7	3,400
23	30	6	4,000	4	1,200	7	3,050	6	2,700
24	20	4	2,000	4	1,200	4	1,400	6	2,250
25	28	3	1,300	1	300	2	1,000	5	1,760
26	56	14	8,500	16	8,300	15	8,250	14	7,250
27	20	2	800	2	600	5	2,050	5	1,500
28	56	12	6,650	12	5,600	17	8,350	13	6,500
29	56	19	14,850	20	13,500	16	9,915	15	8,900
テラス	27	6	5,800	6	5,300	9	5,200	8	4,800
不明		1	1,000	1	1,000	2	1,500	2	4,725
合計	889	161	96,800	171	81,650	193	95,615	201	91,743

元~まひどらひの 第4回 若葉寄席でござります



11月22日若葉寄席を満員御礼で盛況のうちを終えることが出来ました。これらもひとえに準備

員の皆様、楽しもうという姿勢で開いてくださったお客様のお陰です。大変感謝しております。私たちは山梨県の落語会のメンバーです。月に一回落語ワークショップを受講しており、真

打落語家の春風亭柳之助師匠に指導を受けています。依頼があればアマチュアですが敬老会や老人ホーム、図書館のイベントなどで高座に上がらせていただいております。今回

集会所で落語会を開くことになったのは、私が若葉台団地で育つたためです。綺麗で充実した設備の集会所で近所の方々から落語を楽しんでいただけたら、あわせて両親に息子は元気でやっているぞという姿を見せたい、そんな思いから開催の運びとなりました。今回の開催にあたり、こつこつと準備をこなし、今古亭笑生さんに助太刀をお願いしました。会を終えた後の二人の感想が非常に印象深かったです。「お客さんがキラキラした目で聞



きながら、話の笑うポイントでしっかりと爆笑してくれて、自分も気持ち良く演じられた」、「皆が皆楽しもうという姿勢で聞いて下さり、今までの落語会で一番やり易かった。ここらにお住まいの方は格が違うなあ」と。地元を褒められ自分もとても嬉しくなりました。また次回を計画したいと思います。

編集後記

樋口 周平

暮れも押し迫ってからやっとまとまった今回の「わかば」。本日に皆様のご協力に感謝するのみです。今年も大変な自然災害や、海外ではテロ事件が後を絶ちませんでした。そんな年末に餅つきがありました。つきたての柔らかい餅を頂く幸せをかみ締めながら、来年も無事に過ごせますようにと、新年の初詣に思いをはせています。(羽磨)